

(19)日本国特許庁 (J P)

## (12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-238213

(43)公開日 平成9年(1997)9月9日

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/00			H 0 4 N 1/00	C
G 0 6 F 12/16	3 4 0	7623-5B	G 0 6 F 12/16	P
H 0 4 M 11/00	3 0 3		H 0 4 M 11/00	
H 0 4 N 1/21			H 0 4 N 1/21	

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 11 頁)

(21)出願番号 特願平8-67500

(22)出願日 平成8年(1996)2月29日

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 久野 恭輔

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会  
社リコー内

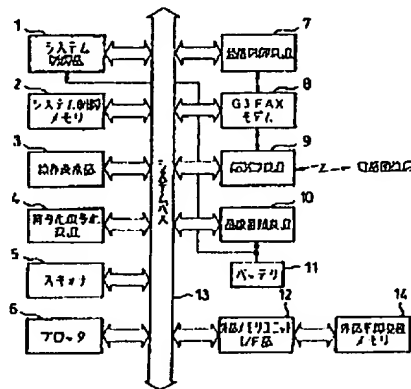
(74)代理人 弁理士 紋田 誠

(54)【発明の名称】 通信装置

## (57)【要約】

【課題】 ダウンロード中にシステム制御メモリのフラッシュメモリが消去状態で電源断となっても電源再投入時ダウンロード動作を継続できるようにする。

【解決手段】 ダウンロード中フラグを保持するバッテリバックアップされたラッチ回路と、このフラグがダウンロード中を示すときシステム制御メモリへのチップセレクト信号を画像蓄積装置に切り換えるチップセレクトスワップ回路と、回線からのプログラムデータを画像蓄積装置に蓄積すると共にラッチ回路にダウンロード中フラグを設定し、その後、システム制御メモリを消去して画像蓄積装置に蓄積されたプログラムデータを書き込むCPUを備え、電源投入時、前記フラグがダウンロード中を示す場合、システム制御メモリを消去して画像蓄積装置に蓄積されたプログラムを書き込むようにした。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信画像データを一時蓄積する画像蓄積装置を有するとともに、プログラムメモリとしてフラッシュメモリを搭載し、このプログラムメモリに格納するプログラムデータを通信回線を介してダウンロードしてプログラムメモリの内容を更新する機能を備えた通信装置において、

前記画像蓄積装置として、ダウンロードするプログラムデータ以上の容量を有し、バッテリーバックアップされたメモリを用いるとともに、

ダウンロード状態信号を保持するバッテリーバックアップされたダウンロード状態信号保持手段と、

前記ダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示すとき、前記プログラムメモリへのチップセレクト信号を前記画像蓄積装置に切り換えるチップセレクト信号切換手段と、

通信回線を介して送られてくるデータがプログラムデータの時、当該プログラムデータを前記画像蓄積装置に蓄積するとともに、前記ダウンロード状態信号保持手段にダウンロード中を示す状態信号を設定し、その後、前記プログラムメモリを消去してから前記画像蓄積装置に蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込む制御手段とを備え、

前記制御手段は、電源投入時、前記ダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示す場合、前記プログラムメモリを消去して前記画像蓄積装置に蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込むことを特徴とする通信装置。

【請求項2】 プログラムメモリとしてフラッシュメモリを搭載し、このプログラムメモリに格納するプログラムデータを通信回線を介してダウンロードしてプログラムメモリの内容を更新する機能を備えた通信装置において、

電気的に書き込み可能な不揮発性メモリから成る外部メモリユニットが着脱自在に接続される外部メモリユニットインタフェース部と、

ダウンロード状態信号を保持するバッテリーバックアップされたダウンロード状態信号保持手段と、

前記ダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示すとき、前記プログラムメモリへのチップセレクト信号を前記外部メモリユニットに切り換えるチップセレクト信号切換手段と、

通信回線を介して送られてくるデータがプログラムデータの時、当該プログラムデータを前記外部メモリユニットに蓄積するとともに、前記ダウンロード状態信号保持手段にダウンロード中を示す状態信号を設定し、その後、前記プログラムメモリを消去してから前記外部メモリユニットに蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込む制御手段とを備え、

前記制御手段は、電源投入時、前記ダウンロード状態信

号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示す場合、前記プログラムメモリを消去して前記外部メモリユニットに蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込むことを特徴とする通信装置。

【請求項3】 請求項2に記載の通信装置において、前記制御手段は、通信回線からのプログラムデータを外部メモリユニットを介してプログラムメモリにダウンロードする際に、外部メモリユニットに当該通信装置を特定するパラメータを格納しておき、パラメータが格納された外部メモリユニットに蓄積されたプログラムデータのプログラムメモリへの書き込みは、そのパラメータが当該通信装置のものであるときのみ実行することを特徴とする通信装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、プログラムメモリとして、一括消去型で電気的に書き換え可能なフラッシュメモリを搭載し、このプログラムメモリに格納するプログラムデータを通信回線を介してダウンロードしてプログラムメモリの内容を更新する機能を備えた、ファクシミリ装置のような通信装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】電話回線等の通信回線に接続されるファクシミリ装置等においては、システム制御用プログラムを格納するシステムROM（プログラムメモリ）を電気的に書き換え可能なフラッシュメモリで構成するとともに、接続回線を利用してシステム制御用プログラムをダウンロードすることにより、システム制御プログラムのバージョンアップや機能拡張に容易に対応することができるとして知られている。このように、電話回線を介してシステム制御用プログラムをダウンロードする場合、回線から送られてくるプログラムデータを一旦、機器内部のメモリ（RAM領域）に蓄積して、システム制御用プログラムメモリを構成するフラッシュメモリのイレーズ（消去）処理を行った後に、RAM領域に蓄積したプログラムデータをシステム制御用プログラムメモリに転送して書き換えを行っている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、このような従来の装置においては、以下に示すような問題点があった。

【0004】すなわち、上述したように、フラッシュメモリへの書き込みは、その構造上、一旦書き込まれている情報のイレーズ処理を行った後、書き込み動作を行わなければならない。このため、システム制御用プログラムメモリにフラッシュメモリを使用しダウンロードを行う際は、一時的にシステム制御用プログラムがイレーズされた状態となる。従って、この時、停電等で機器の電源がオフの状態となった場合、再度電源がオンとなってもシステム制御用プログラムがイレーズされた状態であ

るため、正常に動作することができない。

【0005】また、機器内部のメモリを介してダウンロードを行っているため、各種個別機能を盛り込んだ個々のプログラムをダウンロードする際、毎回電話回線よりダウンロードを行わなければならない。一方、各種機能を全て盛り込んだプログラムとした場合、プログラム容量が増加し、システム制御用プログラムメモリ及び一時蓄積用メモリの容量が増え、コストアップにつながる。

【0006】そこで、本発明はこのような問題点を解決するためになされたものであり、ダウンロード中にプログラムメモリがイレースされた状態で電源がオフとなっても、電源再投入時、ダウンロード動作を継続して行うことができ、正常に動作を開始することができる通信装置を提供することを目的とするものである。

【0007】また、各種の個別機能プログラムを毎回ダウンロードすることなく、それぞれ一度のダウンロードのみで利用することができるようにすることを目的とするものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本願の請求項1に記載の発明は、通信画像データを一時蓄積する画像蓄積装置を有するとともに、プログラムメモリとしてフラッシュメモリを搭載し、このプログラムメモリに格納するプログラムデータを通信回線を介してダウンロードしてプログラムメモリの内容を更新する機能を備えた通信装置において、前記画像蓄積装置として、ダウンロードするプログラムデータ以上の容量を有し、バッテリーバックアップされたメモリを用いるとともに、ダウンロード状態信号を保持するバッテリーバックアップされたダウンロード状態信号保持手段と、このダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示すとき、前記プログラムメモリへのチップセレクト信号を前記画像蓄積装置に切り換えるチップセレクト信号切換手段と、通信回線を介して送られてくるデータがプログラムデータるとき、当該プログラムデータを前記画像蓄積装置に蓄積するとともに、前記ダウンロード状態信号保持手段にダウンロード中を示す状態信号を設定し、その後、前記プログラムメモリを消去してから前記画像蓄積装置に蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込む制御手段とを備え、この制御手段は、電源投入時、前記ダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示す場合、前記プログラムメモリを消去して前記画像蓄積装置に蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込むようにしたものである。

【0009】また、請求項2に記載の発明は、プログラムメモリとしてフラッシュメモリを搭載し、このプログラムメモリに格納するプログラムデータを通信回線を介してダウンロードしてプログラムメモリの内容を更新する機能を備えた通信装置において、電氣的に書き込み可

能な不揮発性メモリから成る外部メモリユニットが着脱自在に接続される外部メモリユニットインタフェース部と、ダウンロード状態信号を保持するバッテリーバックアップされたダウンロード状態信号保持手段と、このダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示すとき、前記プログラムメモリへのチップセレクト信号を前記外部メモリユニットに切り換えるチップセレクト信号切換手段と、通信回線を介して送られてくるデータがプログラムデータるとき、当該プログラムデータを前記外部メモリユニットに蓄積するとともに、前記ダウンロード状態信号保持手段にダウンロード中を示す状態信号を設定し、その後、前記プログラムメモリを消去してから前記外部メモリユニットに蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込む制御手段とを備え、この制御手段は、電源投入時、前記ダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示す場合、前記プログラムメモリを消去して前記外部メモリユニットに蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込むようにしたものである。

【0010】さらに、請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の通信装置において、前記制御手段は、通信回線からのプログラムデータを外部メモリユニットを介してプログラムメモリにダウンロードする際に、外部メモリユニットに当該通信装置を特定するパラメータを格納しておき、パラメータが格納された外部メモリユニットに蓄積されたプログラムデータのプログラムメモリへの書き込みは、そのパラメータが当該通信装置のものであるときのみ実行するようにしたものである。

【0011】

【発明の実施の形態】以下、本願の各発明の実施形態を図面を参照して説明する。

【0012】図1は、本願の各発明に係る実施形態としてのファクシミリ装置を示すブロック構成図である。本実施形態におけるファクシミリ装置は、システム制御部1、システム制御メモリ（プログラムメモリ）2、操作表示部3、符号化復号化装置4、スキャナ5、プロッタ6、通信制御装置7、G3FAXモデム8、網制御装置9、画像蓄積装置10、外部メモリユニットインタフェース（I/F）部12等がシステムバス13に接続されて構成されている。また、システム制御部1及び画像蓄積装置10をバッテリーバックアップするためのバッテリー11が設けられるとともに、外部メモリユニットI/F部12に着脱自在に取り付けられる外部不揮発性メモリ14が備えられている。

【0013】システム制御部1は、このファクシミリ装置全体の制御処理を行うものであり、制御に必要な情報を電源断時にも保持しておくためにバッテリー11によりバックアップされている。システム制御メモリ2は、システム制御部1が実行する制御処理プログラム及び制御

処理プログラムを実行するときに必要な各種データなどを記憶するプログラムメモリであり、一括消去型の電気的書き換え可能な不揮発性半導体メモリであるフラッシュメモリが用いられている。

【0014】操作表示部3は、このファクシミリ装置を操作するためのもので、各種の操作キー及び各種の表示器からなる。符号化復号化装置4は、画信号を符号化圧縮すると共に、符号化圧縮されている画情報を元の画情報に復号化するためのものである。スキャナ5は、所定の解像度で原稿画像を読みとるためのものであり、プロッタ6は、所定の解像度で画像を記録出力するためのものである。

【0015】通信制御装置7は、G3FAXモデム8、網制御装置9を制御して、画情報の伝送制御を行うためのものである。画像蓄積装置10は、符号化圧縮後の画情報を一時蓄積するためのものであり、DRAM等の揮発性メモリで構成されているが、電源断時にも画情報等を保持しておくためにバッテリー11によりバックアップされている。また、この画像蓄積装置9は、電話回線を介してのプログラムダウンロード時にプログラムデータを一時蓄積しておくためにも用いられる。

【0016】外部メモリユニットI/F部12は、外部メモリユニット（外部不揮発性メモリ14）との接続を行うためのインタフェース部であり、外部不揮発性メモリ14は、フラッシュメモリ等からなるカード状のメモリ媒体である。

【0017】上記図1におけるシステム制御部1内の本発明に係わる部分の構成を図2に示す。図2において、20はシステム全体を制御するCPUで、このCPU20に接続された入力ポート21は各種ステータス情報等を入力するポートであり、出力ポート22は各ブロックへの制御信号等を入力するポートである。本願の各請求項に記載の制御手段も上記CPU20により実現される。23はCPU20からのペリフェラル（周辺機器）アクセス時に出力されるアドレスをデコードして各ペリフェラルのチップセレクト信号を生成するチップセレクト生成回路である。

【0018】24、25はバッテリー11にてバックアップされたダウンロード状態信号を保持するラッチ回路（ダウンロード状態信号保持手段）であり、CPU20からデータバスの最下位ビット（bit0）に出力されるダウンロード状態信号（フラグ）をラッチする。26は電源投入時のダウンロード状態信号に基づき各チップセレクト信号の入れ替えを行うか否かを制御するチップセレクトスワップ回路（チップセレクト信号切換手段）である。27は電源投入時にCPU20及び各ペリフェラルにリセット信号を出力するパワーオンリセット回路であり、28、29はパワーオンリセット回路27より出力されたリセット信号RESETのタイミングをずらすためのフリップフロップ回路（F/F）である。

【0019】次に、このように構成されたファクシミリ装置の動作について説明する。

【0020】先ず、電話回線からプログラムデータをダウンロードする動作を図3のフローチャートを参照して説明する。電話回線からの着呼があると（判断101のY）まず、電話回線より送られてくるデータが画データであるかプログラムデータであるかを通信プロトコル上のNSS（Non-Standard facilities Set-up）にて判断する（判断102）。送信側では、NSSに画データかプログラムデータかの情報を盛り込んでくるので、この情報に基づき、ファクシミリ装置本来の画データであった場合、ダウンロード中フラグはオフのままとして、この処理フローを終了し、通常のファクシミリ受信処理に移行する（判断102のN→処理103）。

【0021】一方、プログラムデータの転送であった場合は、さらに、外部不揮発性メモリ14が外部メモリユニットI/F部12に装着されているか否かをチェックする（判断104）。外部不揮発性メモリ14が装着されていないければ、回線からのプログラムデータをそのまま画像蓄積装置10に蓄積する（判断104のN→処理105）。プログラムデータの受信が終了し、全データが画像蓄積装置10に蓄積された後（判断106のY）、CPU20にてラッチ回路24にダウンロード中フラグをONにセットする（処理107）。フラグセット終了後、画像蓄積装置10に蓄積したプログラム中のダウンロードプログラムエリアにジャンプして、プログラムカウンタPCを画像蓄積装置内に移す（処理108）。次に、システム制御メモリ2を構成するフラッシュメモリをイレース（消去）し、イレース終了後、画像蓄積装置10内のプログラムデータをシステム制御メモリ2に転送する（処理109→処理110）。転送終了後、CPU20にてラッチ回路24にセットしたダウンロード中フラグをリセットし（処理111）、システム制御メモリ2内のイニシャルプログラムエリアにジャンプして、プログラムカウンタPCをシステム制御メモリ内に戻す（処理112）。これにより、本ファクシミリ装置は以降、ダウンロードしたシステム制御用プログラムに従って動作する。

【0022】また、外部不揮発性メモリ14が外部メモリユニットI/F部12に装着されているときは、前記判断104から処理113に分岐し、回線より送られてきたプログラムデータを外部不揮発性メモリ14に蓄積する。受信が終了し、全データが外部不揮発性メモリ14に蓄積された後（判断114のY）、CPU20にてラッチ回路24にダウンロード中フラグをセットする（処理115）。フラグセット終了後、外部不揮発性メモリ14に蓄積したプログラム中のダウンロードプログラムエリアにジャンプして、プログラムカウンタPCを外部不揮発性メモリ内に移す（処理116）。次に、シ

システム制御メモリ2を構成するフラッシュメモリをイレーズし、イレーズ終了後、外部不揮発性メモリ14内のプログラムデータをシステム制御メモリ2に転送する

(処理117→処理118)。転送終了後、外部不揮発性メモリ14の所定のエリアにダウンロードパラメータ(回線からのダウンロードプログラムであることを示すフラグ、受信した機器の機番や電話番号等)を格納する(処理119)。その後、CPU20にてラッチ回路24にセットしたダウンロード中フラグをリセットし(処理120)、システム制御メモリ2内のイニシャルプログラムエリアにジャンプして、プログラムカウンタPCをシステム制御メモリ内に戻す(処理121)。これにより、前記同様、本ファクシミリ装置は、ダウンロードしたシステム制御用プログラムに従って動作する。

【0023】次に、ダウンロード中電源オフ後の復帰動作について図4のフローチャートを参照して説明する。

【0024】上記一連の動作の中で、システム制御メモリ2のイレーズ中及び画像蓄積装置10又は外部不揮発性メモリ14からシステム制御メモリ2にプログラムを転送中(図3の処理109~110又は処理117~118間)に、電源オフ(パワーダウン)の状態が発生した場合、バッテリー11にてバックアップされたラッチ回路24にダウンロード中フラグがセットされており、電源再投入の際、パワーオンリセット回路27にてリセット信号RESETが出力され、このリセット信号RESETにてラッチ回路25にダウンロード中フラグをラッチする。ラッチ回路25にてラッチされたフラグ信号はチップセレクトチェンジ信号CSCHGとしてチップセレクトスワップ回路26に入力され、画像蓄積装置10又は外部不揮発性メモリ14へのチップセレクト信号CHGRAM又はCHGEXMEMとシステム制御メモリ2へのチップセレクト信号CHGROMが入れ替えられる。また、フリップフロップ回路(F/F)28、29にてシステムクロックCLKの1周期分遅延させたりセット信号RSTがCPU20に供給されるため、チップセレクトスワップ回路26にてチップセレクト信号が入れ替えられた後、CPU20のフェッチ動作が始まる。従って、リセット解除後、CPU20は画像蓄積装置10又は外部不揮発性メモリ14内のプログラムエリアよりプログラムフェッチを行うため、正常に立ち上がることができる。

【0025】また、イニシャル処理が終了後、CPU20にてチップセレクトチェンジ信号CSCHGの状態を入力ポート21を介して認識することにより、チップセレクト信号が入れ替わっていた場合、すなわちダウンロード中フラグがセットされていた場合、システム制御メモリ2をイレーズして画像蓄積装置10又は外部不揮発性メモリ14よりシステム制御メモリ2にプログラム転送を行う。その終了後、CPU20より出力ポート22を介してシステムリセット信号CPURSTをパワーオ

ンリセット回路27に出力する。パワーオンリセット回路27では、この信号により各ペリフェラルにリセット信号RESETを出力し、再起動を行う。このリセット信号RESETにより、ラッチ回路24、25の各状態はリセットされ、チップセレクトスワップ回路26も初期化される。従って、リセット解除後は、CPU20はシステム制御メモリ2よりプログラムフェッチを行う。

【0026】すなわち、電源再投入(パワーオン)により図4に示す処理フローが開始すると、まず、ダウンロード中フラグがセット(ON)されているか否かをチェックし、セットされていないければ、そのままイニシャル動作に移行する(判断201のN→処理202)。一方、ダウンロードフラグがセットされておれば、さらに外部不揮発性メモリ14が装着されているか否かをチェックする(判断201のY→判断203)。外部不揮発性メモリ14が装着されていないければ(判断203のN)、処理204に進んで、システム制御メモリ2をイレーズする。次に、画像蓄積装置10内に蓄積されているダウンロードプログラムをシステム制御メモリ2に転送して書き込む(処理205)。そして、CPU20より上述したシステムリセット処理を実行する(処理206)。

【0027】また、外部不揮発性メモリ14が装着されておれば(判断203のY)、処理207に分岐して、上記同様システム制御メモリ2をイレーズする。次に、外部不揮発性メモリ2内に蓄積されているダウンロードプログラムをシステム制御メモリ2に転送して書き込む(処理208)。転送終了後、外部不揮発性メモリ14の所定のエリアに上述したようなダウンロードパラメータを格納する(処理209)。そして、CPU20より上述したシステムリセット処理を実行する(処理210)。

【0028】以上のように、電話回線からのプログラムデータをシステム制御メモリ2へダウンロードする際に用いる一時蓄積用メモリとして、バッテリーバックアップされた画像蓄積装置10を流用するとともに、ダウンロード状態をバッテリーバックアップされたフラグにて管理し、ダウンロード中の電源断に際して再度電源が投入された場合に、前記フラグの状態に基づきダウンロードを継続して行えるようにしたので、システム制御メモリ2がイレーズ状態で電源断となっても電源再投入時、ダウンロード動作を継続して行うことができ、正常に動作を開始することができる(請求項1に対応)。

【0029】また、外部不揮発性メモリ14が装着される外部メモリユニットI/F部12を備えて、外部不揮発性メモリ14が装着されているときは、プログラムのシステム制御メモリ2へのダウンロードを外部不揮発性メモリ14を介して行うようにしたので、上記と同様な効果が得られるとともに、外部不揮発性メモリ14の交換により複数の個別機能プログラムに対応することがで

き、各種の個別機能プログラムを毎回ダウンロードすることなく、それぞれ一度のダウンロードのみで利用することができるようになる。すなわち、一つの機能プログラムのダウンロードが完了した後、外部不揮発性メモリ14を取り外し、別の外部不揮発性メモリを実装することにより、回線より転送される各種機能プログラムをそれぞれ別々の外部不揮発性メモリに保存することができる。さらに、ダウンロード中に電源断となり、電源オフの時間が画像蓄積装置10のバッテリーバックアップ可能時間より長い場合でも、電源再投入時、正常なダウンロード動作を行うことが可能となる（請求項2に対応）。

【0030】最後に、電話回線からのダウンロードプログラムが格納された外部不揮発性メモリ14を外部メモリユニットI/F部12に装着して、システム制御メモリ2にダウンロードする処理を図5のフローチャートを参照して説明する。

【0031】まず、操作表示部3よりダウンロード指示が入力されるのを待つ（判断301のNループ）。ダウンロード指示が入力されると、外部不揮発性メモリ14の所定のエリアに格納されたダウンロードパラメータを読み込んで、当該パラメータが本機器のものか否かをチェックする（判断301のY→判断302）。ダウンロードパラメータが本機器のものでなければ、他の機器でダウンロードしたものの流用となるので、操作表示部3にダウンロード不可を表示して、その旨をオペレータに通知し、処理を終了する（判断302のN→処理303）。

【0032】一方、ダウンロードパラメータが本機器のものであれば、さらに、ダウンロード中フラグがセット（ON）されているか否かをチェックする（判断302のY→判断304）。ダウンロード中フラグがセットされていないければ、システム制御メモリ2のイレースに備えてダウンロード中フラグをセットする（判断304のN→処理305）。フラグセット終了後、外部不揮発性メモリ14に格納されているプログラム中のダウンロードプログラムエリアにジャンプして、プログラムカウンタPCを外部不揮発性メモリ内に移す（処理306）。次に、システム制御メモリ2を構成するフラッシュメモリをイレースし、イレース終了後、外部不揮発性メモリ14内のプログラムデータをシステム制御メモリ2に転送する（処理307→処理308）。転送終了後、CPU20にてラッチ回路24にセットしたダウンロード中フラグをリセットし（処理309）、システム制御メモリ2内のイニシャルプログラムエリアにジャンプして、プログラムカウンタPCをシステム制御メモリ内に戻す（処理310）。これにより、本ファクシミリ装置は、ダウンロードしたシステム制御用プログラムに従って動作する。

【0033】また、前記判断304にて、ダウンロード中フラグがセットされておれば、処理311に分岐し

て、システム制御メモリ2をイレースする。次に、外部不揮発性メモリ14内に蓄積されているダウンロードプログラムをシステム制御メモリ2に転送して書き込む

（処理312）。そして、CPU20より前述したシステムリセット処理を実行する（処理313）。

【0034】以上のように、外部不揮発性メモリ14にダウンロードプログラムとともに、ダウンロードした機器を特定するようなパラメータと一緒に格納しておき、このダウンロードパラメータをチェックしてダウンロードするか否かを制御するようにしたので、着脱自在な外部不揮発性メモリ14にダウンロードプログラムを蓄積するようにしても、そのプログラムの他機種への流用を防ぐことができ、ダウンロードプログラムが格納された外部不揮発性メモリ14にプロテクトを掛けることが可能となる。

【0035】なお、上記実施形態においては、本願の各発明をファクシミリ装置に適用した場合について説明したが、ファクシミリ等の通信機能を有する各種情報処理装置に適用しても、上記と同様の作用、効果が得られる。すなわち、本願の請求項1に記載の発明は、画像データの通信機能を有する装置に適用可能であり、請求項2と請求項3に記載の発明は、画像データ以外の通信機能を有する装置にも適用可能である。

【0036】

【発明の効果】以上のように、本願の請求項1記載の発明によれば、通信画像データを一時蓄積する画像蓄積装置を有するとともに、プログラムメモリとしてフラッシュメモリを搭載し、このプログラムメモリに格納するプログラムデータを通信回線を介してダウンロードしてプログラムメモリの内容を更新する機能を備えた通信装置において、画像蓄積装置として、ダウンロードするプログラムデータ以上の容量を有し、バッテリーバックアップされたメモリを用いるとともに、ダウンロード状態信号を保持するバッテリーバックアップされたダウンロード状態信号保持手段と、このダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示すとき、プログラムメモリへのチップセレクト信号を画像蓄積装置に切り換えるチップセレクト信号切換手段と、通信回線を介して送られてくるデータがプログラムデータのと  
き、当該プログラムデータを画像蓄積装置に蓄積するとともに、ダウンロード状態信号保持手段にダウンロード中を示す状態信号を設定し、その後、プログラムメモリを消去してから画像蓄積装置に蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込む制御手段とを備え、電源投入時、ダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示す場合、プログラムメモリを消去して画像蓄積装置に蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込むようにしたので、プログラムメモリを構成するフラッシュメモリがイレースされた状態で電源断となっても、電源再投入時、ダウン

ロード動作を継続して行うことができ、正常に動作を開始することができる効果がある。

【0037】また、請求項2記載の発明によれば、プログラムメモリとしてフラッシュメモリを搭載し、このプログラムメモリに格納するプログラムデータを通信回線を介してダウンロードしてプログラムメモリの内容を更新する機能を備えた通信装置において、電気的に書き込み可能な不揮発性メモリから成る外部メモリユニットが着脱自在に接続される外部メモリユニットインタフェース部と、ダウンロード状態信号を保持するバッテリーバックアップされたダウンロード状態信号保持手段と、このダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示すとき、プログラムメモリへのチップセレクト信号を外部メモリユニットに切り換えるチップセレクト信号切換手段と、通信回線を介して送られてくるデータがプログラムデータのとき、当該プログラムデータを外部メモリユニットに蓄積するとともに、ダウンロード状態信号保持手段にダウンロード中を示す状態信号を設定し、その後、プログラムメモリを消去してから外部メモリユニットに蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込む制御手段とを備え、電源投入時、ダウンロード状態信号保持手段に保持された状態信号がダウンロード中を示す場合、プログラムメモリを消去して外部メモリユニットに蓄積されたプログラムデータをプログラムメモリに書き込むようにしたので、前記請求項1と同様な効果が得られるとともに、外部メモリユニットを交換することにより複数の個別機能プログラムに対応することができ、各種の個別機能プログラムを毎回ダウンロードすることなく、それぞれ一度のダウンロードのみで利用することができる効果がある。また、ダウンロード中の電源断後の電源オフ時間が画像蓄積装置のバッテリーバックアップ可能時間より長い場合でも、電源再投入時、正常なダウンロード動作を行うことができる効果がある。

【0038】さらに、請求項3記載の発明によれば、請求項2に記載の通信装置において、通信回線からのプログラムデータを外部メモリユニットを介してプログラム

メモリにダウンロードする際に、外部メモリユニットに当該通信装置を特定するパラメータを格納しておき、パラメータが格納された外部メモリユニットに蓄積されたプログラムデータのプログラムメモリへの書き込みは、そのパラメータが当該通信装置のものであるときのみ実行するようにしたので、請求項2と同様な効果が得られるとともに、通信回線よりダウンロードした機種にのみ使用可能なように、外部メモリユニットにプロテクトをかけることが可能となる効果がある。

#### 10 【図面の簡単な説明】

【図1】本願の各発明に係る実施形態としてのファクシミリ装置を示すブロック構成図。

【図2】上記図1におけるシステム制御部内の本発明に係る部分を示す構成図。

【図3】上記実施形態において、プログラムデータをダウンロードする動作を示すフローチャート。

【図4】同じく、ダウンロード中電源オフ後の復帰動作を示すフローチャート。

【図5】同じく、ダウンロードプログラムが格納された外部不揮発性メモリを外部メモリユニットI/F部に装着して、システム制御メモリにダウンロードする動作を示すフローチャート。

#### 【符号の説明】

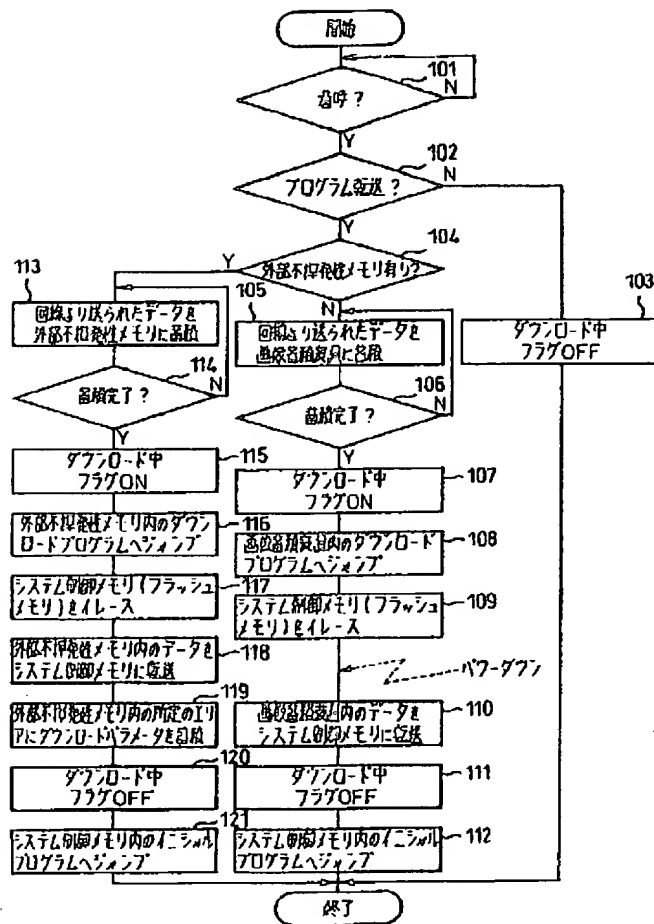
- 1 システム制御部
- 2 システム制御メモリ
- 10 画像蓄積装置
- 11 バッテリー
- 12 外部メモリユニットI/F部
- 14 外部不揮発性メモリ
- 20 CPU
- 21 入力ポート
- 22 出力ポート
- 23 チップセレクト生成回路
- 24, 25 ラッチ回路
- 26 チップセレクトスワップ回路
- 27 パワーオンリセット回路
- 28, 29 フリップフロップ回路



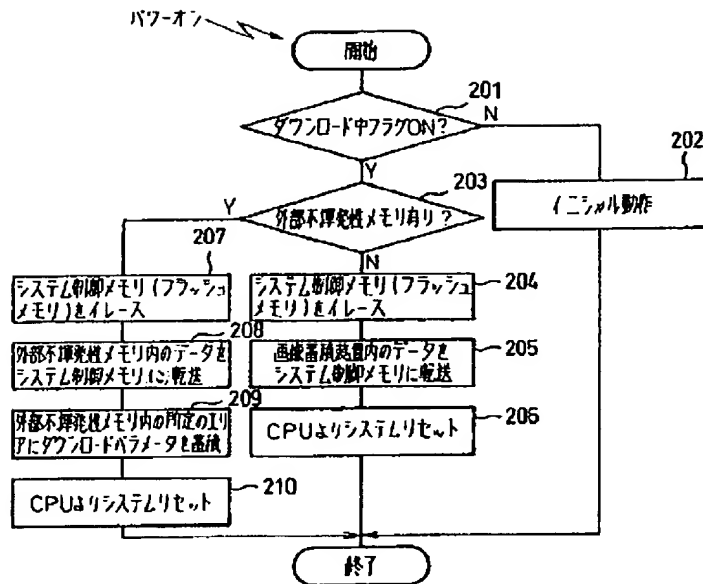




【図3】



【図4】



【図5】

